

2017年度 坂田 直樹氏 作曲 特別講義

1. 日 時 : 2017年 9 月 20 日(水)15 時 15 分～18 時 30 分
2. 場 所 : A 号館 414 教室
3. 対象学生【必修】 : 作曲 専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : 坂田 直樹 氏

パリ国立高等音楽院の作曲科を修了後、IRCAMにて研鑽を修める。2017年度武満賞第一位、入野賞などの国際コンクールに入賞し、フランス公共放送局、パリの現代音楽アンサンブルなどより委嘱をうけ、様々な音楽祭で作品が演奏されている。

5. 講 義 概 要 :

坂田直樹氏 特別講義 講義内容

レクチャーの構成は大きく二つから成る。前半では武満徹作曲賞を受賞したオーケストラ作品、“組み合わせられた風景”を作曲家自身の解説により、楽曲分析的なアプローチを行う。

作品は楽音、噪音、インハーモニックな音など、さまざまな形態の音により構成されていて、多岐にわたる素材がどのように組織化されているのかを管弦楽法的、構成的な視点から講義する。さらに、楽曲製作において強く認められる電子音楽の経験に基づき、エレクトロニクスを用いた発想をどのように器楽に応用しているかについても講義する。

後半では、どのように現在の作曲スタイルに至ったか、そのプロセスを学生時代から遡って論ずる。まず、パリ国立高等音楽院で探求した音素材の拡張や IRCAM での研修による電子音楽からの影響など、技術的な変化について触れ、海外に身を置いたことによる自身の美学的な変化についても論ずる。さらに、上記の純粋に音楽的な視点とは別に、コンクールのコツ、受験、フランスや日本の現代音楽の状況についても自身の経験をもとに実用的な観点から講義する。